

公開シンポジウム

「火山活動による堰止湖の形成とその後の環境変動ー北海道駒ヶ岳と渡島大沼を対象としてー」

日時：2017年10月28日（土）9:00-18:00

会場名：北海道大沼国際セミナーハウス（北海道亀田郡七飯町大沼町）

北海道新幹線新函館北斗駅よりJR函館線（大沼公園）あるいは車で10分

主催団体名：日本地形学連合・金沢大学環日本海域環境研究センター・北海道教育大学函館校・北海道大学（水産科学研究院/農学研究院）・七飯町・森町・鹿部町・北海道渡島総合振興局

後援団体名：北海道新聞函館支社

シンポジウムの趣旨

渡島大沼湖沼群は1640年の北海道駒ヶ岳大噴火で形成された堰止湖である。本シンポジウムでは大沼の湖底に記録された1640年以降の地球環境の変動について、湖底ボーリングの解析結果を中心とした最近の研究成果を紹介する。1640年の駒ヶ岳大噴火は折戸川を堰き止めて大沼湖沼群を形成するとともに発生した火山岩屑流は、噴火湾に流入して津波を引き起こし、対岸に大規模災害（死者700名）をもたらした。1640年は気候変動史上、小氷期とよばれる寒冷な時期に相当するが、駒ヶ岳大噴火は地表の環境のみならず、気候変動にも大きな影響を与えた可能性がある。1850-1900年ころには寒冷期が終わり、温暖期に入るが、大沼の湖底には1640年駒ヶ岳の噴出物とそれ以降に周りから流入した物質が現在まで連続して堆積している。つまり、湖底堆積物には1640年以降の環境の変動が連続的に刻まれている：1640年以降の火山活動、小氷期の気候やその後の温暖期を背景とした自然環境の変動、そして明治以降に展開する人為的な環境変動の多くが堆積物に記録されているのである。近年の豪雨や人工地形改変による土砂移動についての記録も刻まれており、周りの集水域を含む大沼湖沼-流域系は観測時代の記録とそれ以前の出来事を結合させる重要な環境モニタリングシステムとしての機能を果たしてきている。この機能は過去の環境変動の記録装置として有用であるのみならず、得られた情報はこれからの環境変動への対応にも活用できるであろう。本シンポジウムは湖底に刻まれてきたこれまでの火山活動や環境変動に関する情報を紹介するとともにその情報をもたらした堆積物の現地見学も予定している。そしてその後の総合討論を通して今回得られた知見とこれまでに得られている多くの知識がどのように繋がるかを探り、大沼・駒ヶ岳に見られる地球環境変動の理解を深め、今後の教育研究活動の広がりや防災に資する手がかりを検討する。

2017年10月28日（土）9:00-18:00 公開シンポジウム

1部:講演会

1. 湖沼-流域系から推定する地球環境変動
柏谷健二(金沢大学環日本海域環境研究センター)
2. 大沼湖沼群の誕生
鴈澤好博(北海道教育大学函館校授)
3. 湖沼堆積物から推定する1640年駒ヶ岳大噴火以降の環境変動
長谷部徳子(金沢大学環日本海域環境研究センター)
4. 大沼の湖沼堆積物情報と最近の環境変動の推移
落合伸也(金沢大学環日本海域環境研究センター)
5. 北海道のダム堆砂速度の変化から見た地表環境
丸谷知己(北海道大学農学院)
6. 北海道駒ヶ岳の砂防
辻 亘 (北海道渡島総合振興局)

2部:現地巡検

1. 大沼湖沼群と湖沼堆積物の露頭;1640年とそれ以降の駒ヶ岳火山活動と土砂流の発生
鷹澤好博他(北海道教育大学函館校)
2. 北海道駒ヶ岳の砂防
辻亘他(北海道渡島総合振興局)

3部:総合討論と今後の展望

1. 講演と現地巡検に関する各種の質疑・応答と討論
2. 地球の科学(地表環境変動)に対する期待と地域での科学の在り方と生かし方
パネリスト:講演会演者、現地巡検案内者、今井一郎(北海道大学水産科学研究院)・田中邦明(北海道教育大学函館校)

ポスター発表

1. 北海道南部・大沼の湖底堆積物に見られる縞状構造と湖水の季節変動の関係性
勝田長貴(岐阜大教育学部)
2. 大沼湖沼堆積物の有機物特性から見た過去数十年間の流域環境の変化
落合伸也(金沢大学環日本海域環境研究センター)
3. 渡島大沼の湖沼堆積物から推定する近年の水文環境変動
糸野妙子(金沢大学環日本海域環境研究センター)

申込先・申込みに関する問合せ

北海道七飯町自然環境係

電話:0138-67-5855

FAX:0138-67-5856

メール:kankyouseikatsu@town.nanae.hokkaido.jp

〒041-1354 北海道亀田郡七飯町字大沼町212-2

※ お申込みは、住所、氏名、ご連絡先をお知らせください。

当日8時15分大沼公園駅発(大沼国際セミナーハウスまで)の送迎バスを用意しますので、利用するかどうかもお知らせください。また、昼食は各自ご用意下さい。弁当の必要な方は七飯町で用意しますので(700円)、申込時にお伝えください。

内容に関する問合せ

日本地形学連合

610-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所内

TEL: 0774-38-4097

FAX: 0774-38-4105